

市政を問う



吉岡 巖 議員

市のブランドについて

議員 12年間でどういうブランドが出来たのか、簡単に説明を。

市長 認定した商品については、市内外へ幅広いPRに努めている。

ブランドの確立は、まだこれからであり、今後関係機関と連携をとりブランド確立に向けて取り組んでいく。

誘致企業について

議員 誘致企業の中で、結婚して生活できる給料を支給する会社は、何社来ているか。

市長 現在、三社。地元企業・会社がいっぱいとしていたかなければいけないので、支援体制をどうしていくかは、本市の課題であると認識している。どういう形で支援できるか、行政としてしっかりと取り組んでいかなければならない。

島原鉄道跡地利用について

議員 島原鉄道跡地利用の計画をどうお考えか。

市長 議会の皆さん方の知恵もいただきながら相談し、今後どう具体的に活用していくかの検討をしっかりとやっていきたい。

V・V・ファアレン長崎について

議員 V・V・ファアレン長崎に、これまで総額いくらか支援をしたのか。

教育次長 平成25年から平成29年までで、五百万円ほど支援している。

議員 子供たちに、サッカー教室をしてくれたという記憶はない。サッカー教室に、二軍



昭和天皇の誕生日に布津漁協で水揚げされた鯛(宮内庁御用達)

の選手でも連れて来てくれれば、子供たちは夢を持って「お父さん、サッカーを応援に行こう、観に行こう。」と観客動員にもつながる。そういう事がない監督に対して、そこまでしなければならぬのか。

子供たちが九州・全国大会に行くには、ラーメン、カレー、素麺を売ったりして行っている。そういうお金があつたら、子供たちの全国・九州大会のほうに応援をしてほしい。

市長 今後、V・ファアレンにも、本市の子供たちにも、そういう機会を与えてもらえよう要望していきたい。それぞれのスポーツ競技で関わる子供たち、年配の方も含め、そういう場の提供を、行政として整備していかなければならない。

市民にも公開し、声を聞き見直しを

市長/計画の手順に沿って進めていく。



中村 久幸 議員

有馬商業高校跡地、多目的運動広場基本構想について

議員 このことについては、市民の皆さんにも情報は公表されているのか。

教育次長 まだ、そこまでは至っていない。

議員 この莫大な予算を注ぎ込む事業が、本当に必要性和利用価値があるのか、市民にも公開して広く声を聞くべきではないか。

教育長 当然、市民が活用する施設なので、丁寧に説明し、進めていかなければならないと思う。

いる。

議員 解体と広場で9億近い予算に、道路も含め総額10億円にもなるような施設を、県から土地をもらうために急いで造るのか、本当に南島原市民のために造るのか。

教育次長 市民の皆様方、大勢の方に使用していただくため整備をするもの。

議員 市民のためならば、公表した上で、いろんな意見を吸い上げて、要望が多ければ見直すところは見直し、多くの皆さんが喜んで利用されるような施設にするべきではないか。

市長 この件は、市民の皆さん方にも、議会のやりとりや議員さん方を通じて、理解を深めてもらっていると思う。市としては今回計画している手順に沿って、進めていきたいと思っている。

議員 この構想を進めた場合、維持管理費がどれぐらいかかるのか。

教育次長 具体的な試算ではなく、概算で700

万程度を見込んでおり、まだ指定管理を含め、検討をしている段階である。

議員 年間通じ、市民の皆さんが日常的に利用できるような体制ができるのか。

教育次長 防犯上の問題もあり、他の施設と同様に、休業日や利用時間等を設定し、それ以外は施設したいと思っている。

議員 この事業については性急に進めず、もう一度立ち止まって、本当にさまざまな方向から慎重な検討をするべきである。



多目的運動広場構想案、全景イメージ